

新春経営講演会

PFUのビジネスと今後の方向性
 地域に愛される企業を目指して



株式会社PFU

代表取締役 長谷川清氏

去る1月31日(木)、かほく市高松産業文化センター多目的ホールを会場として、地元かほく市に本社のある株式会社PFU 代表取締役社長 長谷川清氏を講師に迎え、「PFUのビジネスと今後の方向性」地域に愛される企業を目指して」をテーマとする新春経営講演会を開催しました。

講演内容は、主に企業の歴史、事業内容、将来展開の3つからなり、まず、企業の歴史として、1960年宇ノ気中学校の一角を使ってオフィスコンピュータの製造を始めてから現在のスキヤナ、組み込みコンピュータ等の製造に至るまでの経緯の紹介がありました。

次に、事業内容として、世界一を誇るスキヤナ生産、キオスクターミナル(コンビニエンスストアのファミリーマートに置かれているチケット発行端末が一例)、組み込みコンピュータ、修理及びメンテナンスの4つの柱があること、キオスクターミナルや組み込みコンピュータが国内でトップシェアを持っていることも紹介されました。

次に、今後の展開として、元々コンピュータ、サーバーの開発から始まった会社であり、プリンタの搬送技術、高い信頼性を要求されるサーバーの品質保持技術を有しており、これらの技術を基にした新製品の開発を進めていくとのことでした。

最後に、地域について、国内4300名中1600名が北陸出身、海外500名中1割が日本人で、その半分の25名が北陸のエンジニアであり、彼らは、日本の品質、北陸の品質、本社のあるかほく市を誇りに思っている仕事をし、ものづくりの素晴らしさを伝えていきます。また、地域への貢献として、JAXAへの協力、アンサンブル金沢への協力、輪島塗リキーボードの商品化、バレーボールのチャレンジリーグ(2部リーグ)へのチーム参加など、地域の活性化につとめているとのことでした。



iPad(スマートタブレット)の ビジネス活用講習会(IT推進委員会)

去る2月7日(木)、かほく市高松産業文化センター3階視聴覚室において、ソフトバンクモバイル(株)の担当者を招いてiPadのビジネス活用講習会を開催しました。ビジネスシーンにおいてiPadがどのように活用できるかというテーマで、操作実習が中心の講習会でした。例えば、初めての訪問先企業までのルート検索、訪問先でのデジタルカタログを使ったプレゼンテーション、ホワイトボードを使ったプレゼンテーションでiPadがどのように活用できるか等を丁寧に説明していただきました。既に導入して大きな成果をあげている企業もあり、今後も講習会等を通じて会員企業へ紹介していきます。



石川県立看護大学生が 「社会人基礎力育成グランプリ2013」 決勝大会で準大賞を受賞!

「社会人基礎力育成グランプリ2013」(日経新聞社主催・経済産業省共催)決勝大会が東京・日経ホールで開催され、石川県立看護大学生チームが準大賞に選ばれました。

グランプリには、全国92大学から109のチームが参加しました。地区予選大会を勝ち抜いた看護大学生を含む8チームが決勝大会に進み、ゼミなどの活動を発表、企業の人事担当者や大学教授らが審査をしました。

看護大学生チームは、かほく市、かほく市商工会、NPO法人クラパレットの協力のもと昨年4月に起ち上げた「健康づくりサークル」の活動を発表しました。その結果、健康教育の難しさを経験した看護職者としての挑戦や、住民を巻き込みながら活動が続けて成長した姿などが評価されました。

このような活動を行うことができたのは、住民の皆様のご理解とご協力あつたことと感謝しております。今後とも、よろしくお願いたします。 垣花 渉

